

学校評価アンケート結果

新居浜市立角野中学校

A・・・そう思う B・・・ややそう思う C・・・あまりそう思わない D・・・そう思わない

〔学習面〕

No.		評価項目	A	B	C	D	肯定的 評価 A+B	令和3年 度との 比較	令和3年度 肯定的評価
1	生徒	あなたは、学校で一生懸命勉強に取り組んでいますか。	42.1	52.6	5.3	0.0	94.7	9.1	85.6
	保護者	お子さんは、学校で一生懸命勉強に取り組んでいると思いますか。	37.6	36.9	21.3	4.2	74.5		
	教員	生徒は、学校で一生懸命勉強に取り組んでいる。	12.3	73.7	12.0	2	86.0	-14	100
2	生徒	あなたは、忘れ物(宿題や提出物を含めて)が少ないですか。	42.1	52.6	5.3	0.0	94.7	10	84.4
	保護者	お子さんは、忘れ物(宿題や提出物を含めて)が少ないと思いますか。	44.0	31.2	16.3	8.5	75.2	5.7	69.5
	教員	生徒は、忘れ物(宿題や提出物を含めて)が少ない。	0.0	47.4	42.1	10.5	47.4	-14	61.1
3	生徒	学校や家庭で、「成績カード」について、励ましやアドバイスをもらっていますか。	42.1	52.6	5.3	0.0	94.7		
	保護者	家庭で、「成績カード」を毎回確認し、それについて励ましたりアドバイスをしたりしていると思いますか。	42.6	40.4	14.2	2.8	83.0		
	教員	「成績カード」を手渡す際、生徒を励ましたりアドバイスをしたりしている。	36.8	47.4	15.8	0.0	84.2		
4	生徒	あなたは、家庭学習の習慣がついていますか。	42.1	52.6	5.3	0.0	94.7	22	72.9
	保護者	お子さんは、家庭学習の習慣がついていると思いますか。	25.5	24.1	36.9	13.5	49.6	-0.2	49.8
	教員	生徒は、家庭学習の習慣がついている。	26.3	63.2	10.5	0.0	89.5	6.2	83.3
5	生徒	授業は、電子黒板やタブレット等を活用していて、わかりやすいですか。	42.1	52.6	5.3	0.0	94.7		
	保護者	先生は、電子黒板やタブレット等を活用した、わかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。	19.1	57.4	22.0	1.5	76.5	1	75.5
	教員	電子黒板やタブレット等を活用した、わかりやすい授業づくりに努めている。	31.6	52.6	10.5	5.3	84.2	-16	100

〔学校行事・部活動・ESD〕

No.		評価項目	A	B	C	D	肯定的 評価 A+B	令和3年 度との 比較	令和3年度 肯定的評価
6	生徒	学校行事(運動会・文化祭・修学旅行など)は、充実した活動になっていると思いますか。	42.1	52.6	5.3	0.0	94.7	2.4	92.3
	保護者	学校行事(運動会・文化祭・修学旅行など)は、充実した活動になっていると思いますか。	31.9	52.5	12.1	3.5	84.4	20	64.5
	教員	学校行事(運動会・文化祭・修学旅行など)は、充実した活動になっている。	84.2	15.8	0.0	0.0	100.0	0	100
7	生徒	部活動は、充実した活動になっていると思いますか。	42.1	52.6	5.3	0.0	94.7	6.6	88.1
	保護者	部活動は、充実した活動になっていると思いますか。	29.8	51.8	13.5	4.9	81.6	7.2	74.4
	教員	部活動は、生徒にとって充実した活動になっている。	31.6	68.4	0.0	0.0	100.0	0	100

〔考察〕

授業への取り組み方については、生徒と教員で評価に大きく差が出ている。忘れ物についても同様である。保護者の方は、自分の子どもについて、家庭学習の習慣が身につけていないと捉えている。わが子を冷静に捉えながら、テストの結果などでは、丁寧に励ましを行ってくださっていることが分かる。No.5については、生徒と教員は、同意見である。保護者の方には、コロナ禍で参観授業等授業を見ていただく機会が少なかったことや、生徒の成績からの判断であると考えられる。真摯に受け止め、今後も分かりやすい授業づくりに努めていきたい。そのためには、ベテラン教職員が若手教職員へ、積極的にアドバイスをしていく必要がある。逆にICTについては、若手教職員の力を借りていくというように、互いの研修が必要である。

学校行事については精進が行われつつあり、そのことを保護者の方が少しずつ理解して下さってきたことが分かる。行事、部活動ともに、保護者の理解を得られ、生徒にとって良い体験の場となっていることが分かる。生徒の体験は心の育成につながる。今後も丁寧に関わっていききたい部分である。